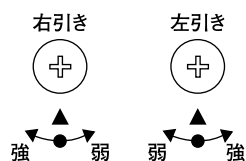


閉じ力調整

⊕ドライバーにて駆動装置
(バネ)の中央軸を回して
下さい。

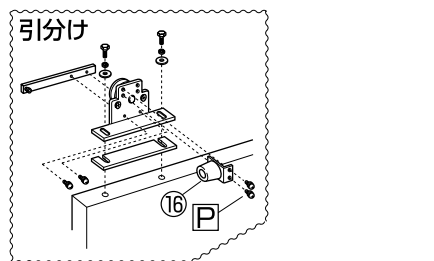
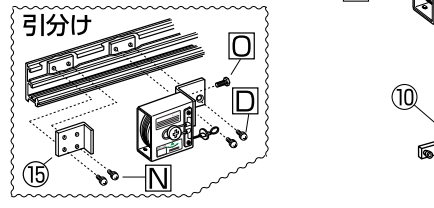
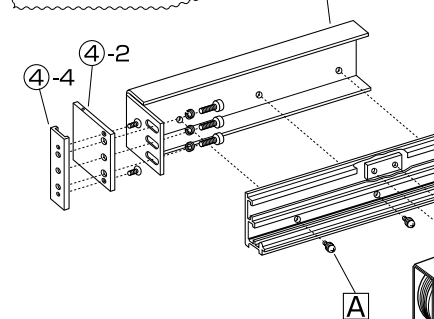
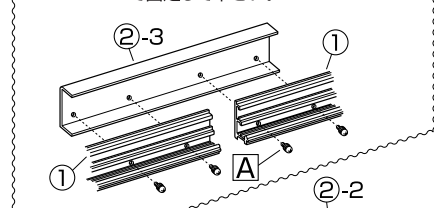
巻過ぎに注意。故障の原因になります。
(本体表示シールの注意書きに従って
下さい。)



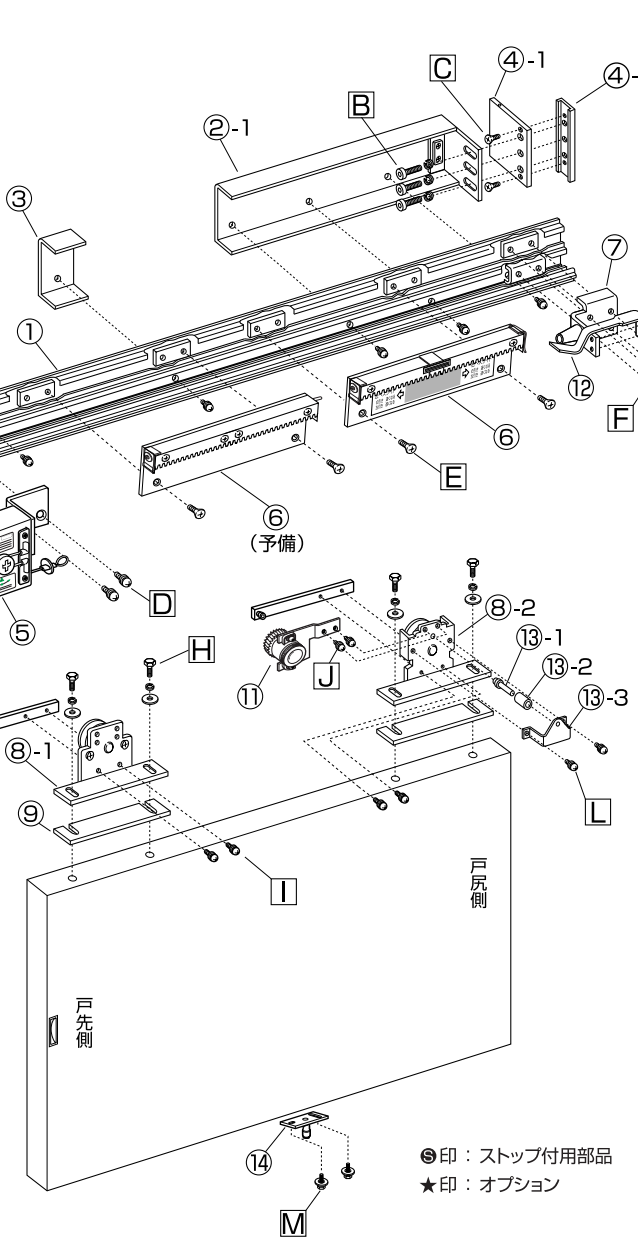
お願い

1. 閉じ力の調整は、必ず本体
シールの表記範囲内で行っ
て下さい。
2. 故障の原因となりますので、
本体シールに表記している
限界巻数を超えない範囲で
使用して下さい。

引分け ※中央の台板は必ず無目枠にネジ(別途)
で固定して下さい。



・温度が変わるとドアの動きが多少変わることがありますが、故障
ではありません。
・温泉の泉質によっては性能が十分発揮できないことがあります。
・ドアを動かさずに長期間放置した場合にドアが重たくなる場合が
ありますが、手で何度か動かしてなじませると動きが良くなります。



部品一覧

本図はストップ付、右引き、
コーナーピースN型用を示す。

- 部品名称
- ① アルミレール
 - ②-1 台板R
 - ②-2 台板L
 - ②-3 台板(引分け用)
 - ③ 補助台板
 - ④-1 コーナーピースR
 - ④-2 コーナーピースL
 - ④-3 コーナーピース用裏板R
 - ④-4 コーナーピース用裏板L
 - ⑤ 駆動装置
 - ⑥ 制動ラック
 - ⑦ 戸当り金具
 - ⑧-1 戸先側ハンガー
 - ⑧-2 戸尻側ハンガー
 - ⑨ ハンガー高さ調整ライナー
 - ⑩ 外れ止め金具
 - ⑪ 制動装置
 - ⑫ ストップバネ
 - ⑬-1 ストップロールピン
 - ⑬-2 ストップローラー
 - ⑬-3 ストップロール板
 - ⑭ ガイドローラー
 - ★ ⑮ 中央戸当り位置決め金具
 - ★ ⑯ 中央戸当り金具

F型のみレール間座が同梱されています。

取付ネジ		取付穴数
①	M5×10 (P=0.8) なべ小ネジ	6本
②	M8×35 (P=1.25) 六角穴付ボルト	4本
③	M4×30 (P=0.7) 皿小ネジ	2本
④	M5×12 (P=0.8) なべ小ネジ	4本
⑤	M5×10 (P=0.8) 特皿小ネジ (D=8)	2本
⑥	M5×20 (P=0.8) なべ小ネジ	2本
⑦	M5×16 (P=0.8) なべ小ネジ	2本
⑧	M8×25 (P=1.25) 六角ボルト	4本
⑨	M5×12 (P=0.8) なべ小ネジ	4本
⑩	M5×10 (P=0.8) なべ小ネジ	2本
⑪	M5×10 (P=0.8) なべ小ネジ	2本
⑫	M5×10 (P=0.8) なべ小ネジ	2本
⑬	M5×12 (P=0.8) なべ小ネジ	2本
⑭	M8×25 (P=1.25) 六角ボルト	1本
⑮	M5×10 (P=0.8) なべ小ネジ	2本

応用例

予備の制動ラックの配置によって自在にドアの開鎖をコントロールできます。(3個以上はオプション)

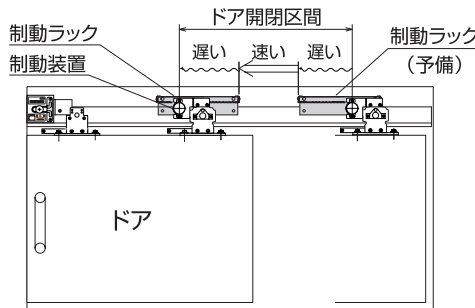
《閉扉速度の調整》

制動装置本体の調整ツマミで、適切な閉扉速度
とならない場合は、制動ラックの位置決めによ
り行います。制動装置の歯車と制動ラックがか
み合っている区間は、制動力が働いている為、
閉扉速度は遅くなります。
したがって制動区間を長くすると、ドア全開よ
りの閉扉時間(速度)は遅くなり、短くすると速
くなります。(下図参照) 制動ラックの位置をス
ライドさせて制動区間を調整し、適度な閉扉速
度に設定して下さい。

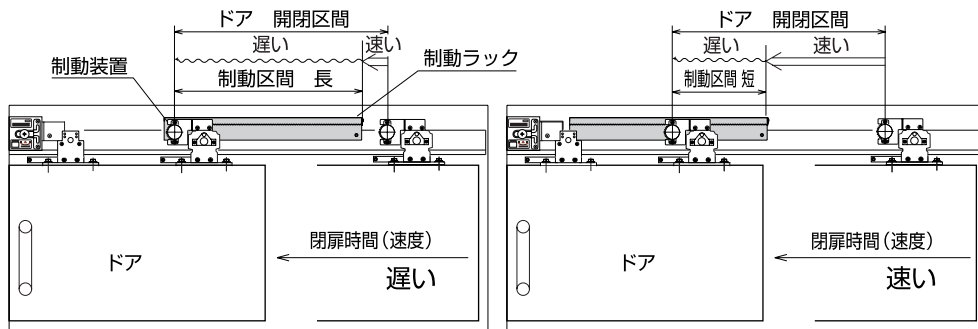
《ディレードアクション》

ドアを全開すると、途中までゆっくり閉まり、
中間は速く、閉まり際はゆっくり
閉まる設定になります。

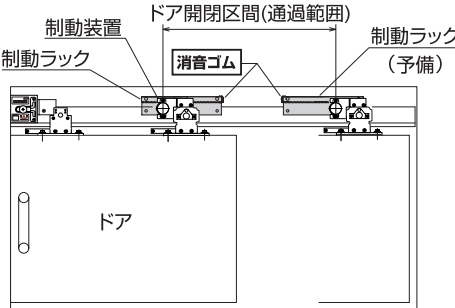
(注) この場合のディレードアクションの閉扉速度調整は制動ラックが戸当り
金具に干渉するのである程度限定されてしまいます。



- 制動ラックを取り付ける際は、裏面の手順⑬と同様に下向きに押さえつけた状態でネジ止めして下さい。
- 予備の制動ラックを使用しない場合は、戸先側の干渉しない位置に仮止めして下さい。

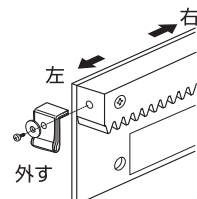


制動ラックの端を制動装置の歯車が通過す
る際、かみ合った瞬間の消音の為、必ず消音
ゴムを付けて下さい。

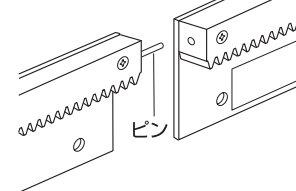


● 制動ラックの連結方法

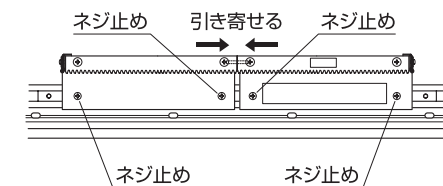
- ① 制動ラックの左側の消音ゴムを外す。



- ② もう1つの制動ラック(予備)のピンを
穴に入れて連結する。



- ③ 互いに引き寄せてネジ止める。
(隙間を開けないで下さい。)



商品保証について

当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換をご依頼下さい。

保証期間

- 建築会社様よりの引渡し日(注1)(注2)から2年間(電装部品は1年間)。
- (注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。
- (注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、又はその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証
期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き
無料修理、交換いたします。
ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象に
はなりません。

免責事項

- 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理、交換になります。
- ① 施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
 - ② 商品の性能、又は適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を超えたドアの使用、又は超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
 - ③ 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
 - ④ 建築躯体の変形などに起因する不具合
 - ⑤ 結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合。
 - ⑥ 商品、又は部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など)、又はこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合

- ⑦ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、又はその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑧ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
- ⑨ 引渡し後のドアの操作誤り、引戸クローゼットの調整不備、又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑪ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせ下さい。